

松田町第6次総合計画 令和3年度評価に係る推進方法確認シート

令和3年度評価において、評価が『C』以下（令和3年度取組予定に対し、実際の進捗状況が70%未満）の取組について、その課題・要因、それらに対する対応方法を含めた今後の推進方法について、整理しています。

資料2の該当箇所	取組名称	評価	課題・原因	対応方法・今後の推進方法
資料2-1 4ページ	介護相談員事業	D	コロナ禍、感染拡大が見込まれる中、高齢者の体調に配慮し、面会ができませんでした。	高齢者への面会ができ次第訪問できるよう準備しつつ、相談員のモチベーションが下がらないよう対応します。
資料2-3 2ページ	体験学習等の実施	C	森林関連の体験学習として実施している「やどりき水源林のつどい」がコロナの影響で中止となり、事業実施ができませんでした。	令和4年度は現時点で寄を会場に実施が予定されています。
資料2-3 3ページ	桜まつり等の各種イベントの実施連携・協力	C	コロナにより、イベント自体が全て中止となりました。	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、経済回復局面に移った際には、推進事業を展開します。
資料2-3 3ページ	イベント開催時における地場産品の販売促進	C	コロナによるイベントの中止により、場の確保ができませんでした。	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、経済回復局面に移った際には、推進事業を展開します。
資料2-3 3ページ	まつだ乾杯条例の推進	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食店を会場としたイベントは行えない状況でした。	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、経済回復局面に移った際には、推進事業を展開します。
資料2-4 4ページ	水道使用料適正化の検討	C	新型コロナウイルスの影響により、水道事業運営審議会が開催できなかったため。	日程を慎重に選びながら、対策をして開催いたします。
資料2-5 2ページ	松田山ハーブガーデン活用促進	C	指定管理等に向けた準備が整わず、募集に至っていません。	条例改正等の制度の整備が整い次第、指定管理者等を募集します。

資料2の 該当箇所	取組名称	評価	課題・原因	対応方法・ 今後の推進方法
資料2-5 4ページ	生活用水用井戸の確保	D	飲料水としての利用は備蓄等で十分であると考えられ、災害用井戸をどのように利用するかが課題です。	災害時の井戸水の使用方法に明確な基準や考え方が必要です。
資料2-6 2ページ	審議会における女性の登用促進	C	課題は、登用状況が目標と乖離していること。原因としては、ポジティブアクションが進んでいないことが考えられます。	令和4年度は、次期男女共同参画プランの策定期間であるため、有識者等からの意見聴取の上、ポジティブアクションの推進施策や適切な数値目標を設定します。

松田町第6次総合計画 令和3年度評価に係る推進方法確認シート

令和3年度評価において、評価が『A』（令和3年度取組予定に対し、進捗状況が「事業完了」「目標以上成果があった」）の取組について、その評価とした理由を整理しています。

資料2の該当箇所	取組名称	理由
資料2-2 2ページ	教科用指導書・教材・備品購入事業	令和3年度については、中学校教科用図書の採択に伴い、教員用指導書を購入することができ、授業に活用することができております。また、教科指導方法や教科内容の高度化に対応するなど、学習指導の充実や幼稚園・学校運営に必要な備品の購入を計画的に進めることができました。
資料2-2 3ページ	給食費保護者負担軽減措置補助金	令和3年度上半期は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、負担が増大している子育て世帯の経済的支援を行うため、小・中学校への給食費を全額助成を実施し、さらなる保護者負担の軽減が図られました。
資料2-2 4ページ	ジュニアリーダースクールの開催	小学校高学年を対象としたジュニアリーダースクールにおいて、年間を通じての活動（SDGs勉強会、民俗芸能伝承教室など）をとおして、異年齢の交流や集団生活を行うことにより、自立心と仲間との協調性を養うことができ、参加児童の成長が伺われるなど、事業の充実を図ることができました。
資料2-3 1ページ	有害獣被害防護柵の維持・管理・整備	過去の調査（平成28年度）時に、『一定規模の修繕が必要』としていた箇所については、令和3年度までに計画的に補修し、完了しました。なお、維持管理については継続的に実施していきます。
資料2-3 1ページ	有害獣防止柵設置材料費補助制度の活用促進	農協との連携などで利用者の掘り起こしや支援を実現し、着実に利用は広がっています。また、農地保全という観点で補助条件を緩和したことで、さらなる利用の促進も期待されます。
資料2-3 2ページ	ハンター育成事業	定期的なハンター塾の開催を契機に、捕獲活動の中核を担う猟友会員（町駆除実施隊員）の増加が見られ、事業の効果が明確に表れています。
資料2-3 2ページ	荒廃農地への景観植物・広葉樹植栽の推進	県による財政支援のある里地里山保全事業の認定団体は3団体にまで増え、さくらやロウバイといった景観植物の植栽面積が目標以上に増え、推進されました。

資料2の 該当箇所	取組名称	理由
資料2-3 6ページ	足柄上地区1市5町と連携した 広域的な相談体制の充実	相談体制の整備は確立され、着実に相談をこなしており、相談内容の情報共有も必要に応じて行えているため、目標以上の成果が出ています。
資料2-5 3ページ	18ホール化に向けての調査・研究	令和2年度に18ホール化整備工事が完了しました。

事業総合評価に係る推進方法確認シート

事業総合評価において、評価が『D』以下（アクションプログラム期間において目指しているもの・予定している取組内容に対し、今回評価時までの進捗状況が50%未満）の取組について、その課題・要因、それらに対する対応方法を含めた今後の推進方法について、整理しています。

項目	取組名称	評価	課題・原因	対応方法・ 今後の推進方法
該当ありません				

事業総合評価に係る推進方法確認シート

事業総合評価において、評価が『A』（アクションプログラム期間において目指しているもの・予定している取組内容に対し、進捗状況が「事業完了」「目標以上成果があった」）の取組について、その評価とした理由を整理しています。

資料2の 該当箇所	取組名称	理由
資料2-5 3ページ	18ホール化に向けての調査・研究	令和2年度にスポーツ振興くじ助成金を活用した整備工事を実施し、予定通り工事が完了しました。
資料2-6 4ページ	斎場事務の広域化	小田原市に事務委託をしながら、構成市町と継続して連携を図っています。また、令和2年3月には、すべての整備が完了して、供用開始となっているためです。

令和4年度事業の方向性に係る推進方法確認シート

「令和4年度事業の方向性」の評価において、評価が『C1』『C2』『D1』『D2』『D3』の取組について、その理由について、整理しています。

資料2の該当箇所	取組名称	評価	評価の理由
資料2-1 5ページ	子育て支援センターやファミリー・サポートセンター事業の充実	C1	民間の子育て支援センター すこやかが閉所するため。
資料2-1 6ページ	子育て世帯支援事業	D3	現事業は要綱としてはR3年度に廃止だが、R4年度のみ同等内容の新規要綱により、継続的支援を図っていくため。
資料2-3 5ページ	観光ボランティアの育成・支援	C1	令和2年度に観光ボランティアの活動を推進するため「松田町観光サポートの会」を立ち上げたが、コロナ禍で会の存続ができない状況となり、解散したため、見直しを要すものです。
資料2-5 2ページ	子どもの館の利用促進	C1	指定管理者制度等の導入の管理方法の見直しを検討しています。
資料2-5 2ページ	自然館の利用促進	C1	指定管理者制度等の導入の管理方法の見直しを検討しています。
資料2-5 2ページ	松田山ハーブガーデン活用促進	C1	指定管理者制度等の導入が必要です。
資料2-5 2ページ	ふるさと鉄道活用促進	C1	指定管理者制度等の導入の管理方法の見直しを検討しています。
資料2-5 3ページ	パークゴルフ場活用促進	C1	指定管理者制度等の導入が必要です。
資料2-5 3ページ	18ホール化に向けての調査・研究	D3	令和2年度に予定通り工事が完了したため。
資料2-5 4ページ	耐震性貯水槽の整備	C1	令和3年度に松田小学校貯水槽の設置は完了しました。今後は、貯水槽を防災訓練等で定期的に確認します。

【参考】各評価の区分

事業の方向性区分	
A 重点化・拡大して継続	
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない 2 見直しには法令等の改正が必要 3 見直しの必要性はあるが次期尚早
C 見直して継続	1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合
D 休止・廃止・完了	1 休止 2 廃止 3 完了